

単元名：握手

『握手』を読もう

(全5時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年8月30日(金)第2校時

授業学級 3年D組

授業会場 3年D組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

手の表現に特徴があることを踏まえ、おおまかな内容を読み取ることができる。

(2) 授業のポイント

- ・『握手』はどんな話か考える。
- ・物語を読み取るための表現に注目しながら読んで感想を書く。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問 ◇留意点 ☆教材	時間
導入	1.教師が『握手』を範読する。	◇範読を行う前にタイトルの意味や表現の特徴について考えながら読むように言葉がけをする。 ◇日常で握手を行う場面などを提示する ☆ICT	5
	【学習問題】『握手』はどんなお話だろう。		20
		◇本文のキーワードや工夫に留意して範読する。 ☆教科書『握手』	
	【学習課題】物語を読み取るための表現に注目しながら読んで感想を書こう。		
展開	2.本文を一読して疑問を持ったことや気づいたことをワークシートに記述する。	○「本文を読み解いていくうえで注目したい表現の特徴はありますか？」 ◇本文に根拠を持った特徴を出せるように支援する。 ◇タイトルと関係を持たせることで「手」や「指」の表現への感心を持たせる。	10
	3.全体共有する。	○「皆さんどんな考えをもったか発信してください。」 ◇「わたし」の気持ちと指言葉との関連に気付いている生徒の考えを共有する。 ◇生徒の「最後の一文」に疑問を持っている発言を共有する中で単元の学習問題を設定する。 【評価(対象)】手の表現に特徴があることを踏まえ、おおまかな内容を読み取っている。	10
終末	3.授業を振り返る。	○「手の表現に特徴があることがわかりましたね。」	5